

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1011	1011	中学校クラブ遠征等支援事業	01	01	一般会計
			10	10	教育費
基本施策	31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	03	03	中学校費
			02	02	教育振興費
担当部課名		教育部 学校教育課	101	101	教育振興経費
作成者氏名	加納 圭子	連絡先	22-9676	細々目	03
					中学校クラブ遠征参加経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	市内全中学校の部活動に入部している生徒	運動部の大会や文化部のコンクール等への参加旅費を負担することで、部活動の一層の充実が図られ、中学校の教育活動全般が活性化し、生徒の健全育成につながります。
本年度事業内容	中学校部活動における遠征参加補助	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
根拠法令・要綱等		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	7,474	5,900	5,900
	委託料			
	負担金、補助及び交付金	7,474	5,900	5,900
	その他			
合計(A+B)		8,194	6,620	6,620
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	8,194	6,620	6,620	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
部活動遠征参加補助校数	校	12	12	12			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
県大会出場部活動数	部活動の成果として、伊賀市大会、伊賀地区大会を勝ち抜いて、三重県大会出場を獲得した部活動数を指標としました。	部活	7 目標 (10)	10	10
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

中学校では、部活動の成果を発揮する場として大会やコンクールの機会が1年間に数回あります。中学生は、身につけた力を多くの機会に様々な会場でためすことで、さらに意欲を高めていきます。このことは、部活動のみならず、今後の進路や生き方にもつながる大切な教育活動でもあります。しかし、伊賀市では、公共交通機関を利用することが困難な地域もあり、生徒の参加に支障をきたしている現状です。こうした状況から、遠征費用を補助することで、生徒の自己実現につなげていきたいと考えます。

評価	必要性	4	現状の補助額では、限られた機会にしか活用できず、生徒の活動を十分保障しているとは言いきれません。公共交通手段が全くない地域の状況を考慮し、さらに補助額を検討していく必要がありますので、予算の拡大がのぞまれます。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	2		
	効率性	3		
				B